



No.54

2023 September
[MISA会報 第54号]

- 会長挨拶
- 第12回通常総会・記念講演会
- 役員改選報告
- 委員会活動報告
- 新入会員紹介

■発行／一般社団法人 宮城県情報サービス産業協会 仙台市青葉区上杉1-6-10 EARTH BLUE 仙台勾当台5F 【TEL】022 (217) 3023 【FAX】022 (217) 3055 【E-mail】misa@misa.or.jp
■URL／<https://www.misa.or.jp> ■企画・編集／広報委員会 ■印刷／ハリオコミュニケーションズ株式会社



第12回通常総会 会長挨拶

一般社団法人 宮城県情報サービス産業協会 会長 **阿部 嘉男**



第12回通常総会の開催に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、大変ご多用のところ、ご来賓の皆様はじめ多くの会員の皆様にご出席いただき、誠にありがとうございます。平素より当協会の活動に格別のご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

コロナ禍の影響がまだ残っていますが、本通常総会も昨年に引続きリアルに開催することができて非常に喜ばしく思っております。当協会の活動も、福利厚生委員会ほか、一部実施できないところが出ていますが、やっと普通に戻りつつあると実感しているところです。

本日の総会では、「令和4年度の事業結果及び収支決算」並びに「役員の改選」についてご審議いただくとともに、新たに策定した「第9次中期事業計画」、「令和5年度事業計画及び収支予算」についてご報告しますので、ご承認いただければと思っております。何とぞよろしくお願いします。

さて、2023年の我が国の景況ですが、コロナの感染拡大も少し落ち着きつつあり、回復の兆しが見えてきたところであり、日本の株価が何とバブル以来の高値をつけているというすごい状況であります。しかし、ロシア、ウクライナ紛争、欧米金融不安、そしてアジア・中東情勢など様々なリスクを抱えていることから、依然予断を許さない状況であります。

また、東北においては、引続き雇用・設備投資の改善が続く中で、一部に弱さや種々懸念されることがみられるものの、各種政策の効果や復興需要を背景に景気が緩やかに回復していくことが期待されています。

情報サービス産業協会をめぐる環境は、政府の「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」の下、行政のみならず国民による社会経済活動全体のDX化などデジタル化の波が急速に進みつつあります。

宮城県でも、村井知事がDX化を全庁あげて取り組むと発信されていますし、さらに東北大学では青葉山にナ

ノテラス・次世代放射光施設なども造られ、我々業界としても今後注目すべきところであります。

皆様ご存じのように、DXの本質というのが、今までの守りのITではなくて、攻めのITつまりはビジネスモデルを大きく変革し、自らの企業価値を追求することにあります。

また、その取組は業種間の垣根を越えて、産業構造を大きく転換するものでもあります。これをITの側面から支えるのが情報サービス産業の重要な役割であり、我々業界も大きな変革期を迎えています。

業務効率化やコスト削減がIT投資の主目的だったこれまでとは異なり、ITを駆使して新しいビジネスモデルや経営モデルをお客様に創造・提案し、実現していく時代へと大きく変革してきています。このことは地域ITベンダーにおいても同様で、DX時代に対応した技術力、人的スキルの早急な対応が求められています。

今まさに、我々ICT産業は、地域経済を支えリードする基幹産業として、大きな役割と期待が求められているのではないのでしょうか。いずれにしても、会員皆様のご尽力・ご協力が必要です。また、今年度の事業活動の推進に対しても、引続き会員の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

本日は、本総会終了後に、セゾン情報システムズの有馬様より、「イノベーションのハードルを下げよう！」というテーマでご講演いただく予定になっております。有馬様にはお忙しい中、誠にありがとうございます。よろしく申し上げます。

また、講演後、恒例の交流会も予定しておりますので、有意義な交流の場として活用していただければ幸いです。

最後になりますが、ご参集の皆さんのますますのご繁栄をご祈念申し上げまして、総会開会の挨拶とさせていただきます。

(報告事項)
第5号議案 令和5年度事業計画について
第6号議案 同上 収支予算について

通常総会に引続き、株式会社セゾン情報システムズ 執行役員 CTO 有馬三郎氏による、「イノベーションのハードルを下げよう」と題する講演会が開催されました。(講演会の一部別掲記事参照)

その後の200名を超える出席者のもと、コロナ対策を徹底したテーブル形式による恒例の交流会が開催されました。交流会は、中嶋理事の開会挨拶、東北経済産業局地域経済部 小林和昭部長、仙台市経済局イノベーション推進部産業振興課 久本久課長のお二人からのご来賓挨拶、そして木村新副会長による乾杯の発声に引続いて懇談に入り、午後6時半すぎ、高谷理事のなかじめですべての行事を無事終了しました。

来賓挨拶

宮城県 企画部長 **武者 光明 氏**



4月に異動してきました宮城県企画部長の武者と申します。それでは、一般社団法人宮城県情報サービス産業協会第12回通常総会の開催に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

情報サービス産業は、急速な発展を遂げ、私たちの社会に革新的な価値をもたらしています。宮城県はこの成長産業を支援し、地域経済の活性化に努めてまいりました。協会の皆様は、業界のリーダーとして、さらなる連携と協力を通じて、地域の情報サービス産業を一層発展させる重要な役割を果たしていただいております。

本日の総会を通じて、有意義な議論と情報交換が行われることを期待しております。引き続き、宮城県情報サービス産業の未来に向けて共に歩んでまいりましょう。

この業界の皆様ですので、お察しががついているかと思いますが、ただいま申し上げました挨拶は、チャットGPTを使って作成してみました。いかがでしょうか。きれいな挨拶だったかと思うのですが、物足りなさも感じられたかと思います。

ここからは、気持ちを込めてつくった挨拶をいたしたいと思います。

先のG7広島サミットにおいて、信頼できる人工知能という共通のビジョンと目標を達成するために、包括的なAIガバナンス及び相互運用性に関する国際的な議論を進める旨、首脳宣言がなされました。このような革新的技術が社会課題の解決に寄与することが大いに期待されます。

そして、何より今後の人口減少、少子高齢化社会の中

来賓挨拶

東北経済産業局 地域経済部 部長 **小林 和昭 氏**



本日は、宮城県情報サービス産業協会第12回通常総会が滞りなく終了されましたことを心よりお祝い申し上げます。

宮城県情報サービス産業協会におかれましては、発足以来、地域社会の高度情報化の促進と経済、産業の発展に大きく寄与してこられました。これまでの関係者各位のご尽力に、心より敬意を表する次第でございます。

さて、新型コロナウイルス感染症拡大もようやく収束し、やっと日常に戻りつつあります。しかしながら、この3年間、感染対策を進める中で、行政をはじめとして日本のデジタル化の遅れが明らかになりました。我が国のバブル崩壊後の低成長は失われた30年と言われますが、これはデジタル投資の遅れも主要な要因として指摘されております。

また、1990年代以降、少子高齢化、人口減少といった構造的な課題も顕著となっております。

こうした状況の中で、政府としては、資本主義のバージョンアップ、新しい資本主義を実現すべく、成長分野への政府、民間ともに投資拡大を進めるため、新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画において、DX

で、コロナを乗り越えて地域が持続的に成長していくためには、デジタル技術を活用し、地域課題の解決や活力を創出することが求められております。

県におきましても、デジタルファースト宣言の下、昨年度立ち上げました産業デジタル推進課を企画部に移し、県内産業のデジタル化と行政も含めた地域のデジタル化の取組を一体的に推進し、DXによる変革みやぎの加速化を図ってまいります。

県内情報サービス産業の皆様は、さらなるご活躍をいただくためにも、皆様のご協力をいただきながら、地域の高度IT技術者育成をはじめとした様々な事業に力を入れて取り組んでまいります。

特に、地場産業と県内IT企業とをつなぐ交流促進の場が重要であると考えております。県内企業の方々に向けた周知、訴求の場として、それぞれの企業の皆様の情報等を掲載するポータルサイト、「OPEN INNOVATION みやぎ」を昨年度整備いたしました。このサイトがより充実したものとなることで、県内産業のDX推進や皆様の新たなビジネス創出にもつなげたいと考えております。

「OPEN INNOVATION みやぎ」につきましては、本日お手元に資料を配付させていただいております。ぜひご覧いただきたいと思います。まだこのサイトに掲載されていない会員企業の皆様におかれましては、ぜひとも掲載にご協力をいただきますようお願い申し上げます。

結びに、貴協会の今後ますますのご発展と、本日ご参会の皆様のご健勝、ご活躍、そして世界の平和をお祈り申し上げ、ご挨拶といたします。

を重点分野の一つとして取り組んでおります。

経済産業省でも、経済産業政策の新機軸として、デジタル産業、デジタルライフライン、デジタル人材を全ての産業を支えるデジタル産業基盤として整備し、DX、GX、経済安全保障を実現するとともに、国内投資、イノベーション、所得の拡大の好循環につなげていく高度なデジタル社会の実現に向けた取組を加速しております。

東北経済産業局といたしまして、東北地域のデジタル化、DXを進めるために、産学官が連携した地域企業の伴走支援や「TOHOKU DX大賞」による地域の優れた事例の普及展開などを引き続き実施してまいります。

東北の地域企業が、今後デジタル化、DXを推進していくためには、ユーザー企業の身近なパートナーである皆様の役割が、今後非常に大きくなっていくものと考えております。会員の皆様から地域課題をデジタルで解決する新たなサービスが創出され、我が国が目指すデジタル社会の実現に向けて貢献されることを期待しております。

結びになりますが、宮城県情報サービス産業協会のさらなるご発展とご参会の皆様のご健勝を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

来賓挨拶

仙台市経済局 イノベーション推進部産業振興課 課長 久本 久 氏

まずは、本日、一般社団法人宮城県情報サービス産業協会通常総会が、多くの関係者の皆様のご参加の下、ご盛会のうちに終えられましたことを心からお祝い申し上げます。

本来であれば、市長の郡がご挨拶申し上げるべきところではございますが、あいにく公務が重なっておりまして、代わって私からご挨拶申し上げます。

貴協会の会員の皆様には、日頃から宮城県内の IT 技術の利用促進、普及啓蒙、人材育成など様々な面におきまして、情報サービス産業の振興に多大なるご貢献をいただき、この場をお借りして深く御礼を申し上げます。

近年、地域経済を取り巻く環境はこれまでにないスピードで変化しておりまして、デジタルトランスフォーメーション（DX）の加速や、先ほどの講演でもお話がありましたチャット GPT をはじめとする生成系 AI の活用など、IT 技術に関する世の中の関心は日々高まり続けてございます。

本市といたしましても、仙台市経済成長戦略 2023 の重点プロジェクトの一つとして掲げている Society5.0 を実現する X-TECH イノベーション推進都市仙台の下、AI を活用した付加価値の高い新ビジネスの創出ですとか、AI 人材の育成を推進するプロジェクトに取り組んでいるところでございますが、この大きな時代の変化を捉えまして、地域企業がデジタル技術を活用し競争力を



高めていくためには、IT 産業に関わる皆様のお力がますます重要になってくるものと考えております。

また、IT 業界における人材確保、そして人材育成についても、大変重要な課題であると認識しております。昨年度から、人財委員会をはじめとした会員企業の皆様との連携を強化させていただきまして、東北各県や首都圏の教育機関への合同訪問などを実施してきたところでございますが、さらに今年度は、本市教育委員会におきまして、次世代地域産業人材育成に係る新事業として、マイスター・ハイスクールの実施が先日決定したところでございまして、今後、専門高校における教育カリキュラムの刷新、実践に向けまして、引続き協会の皆様方にお力添えをいただく予定となっております。

本市といたしましては、優秀な IT 人材が集い、地域の IT 企業の皆様によって様々なイノベーションが生み出され、本市のみならず宮城県、東北地域全体の活性化が図られるよう、引続き皆様と活発に意見交換をさせていただきながら、様々な施策に共に取り組んでいきたいと考えております。今後とも、ご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びになりますが、宮城県情報サービス産業協会様のますますのご発展と、本日ご参会の皆様のさらなるご活躍とご健勝を祈念いたしまして、私のご挨拶とさせていただきます。



令和 5 年度 MISA 役員名簿

(各五十音順、敬称略)

役員	氏 名	所属・役職	役員	氏 名	所属・役職
会長 (代表理事)	阿 部 嘉 男	株式会社 SRA 東北 代表取締役社長	理 事	鈴 木 利 信	株式会社アテネコンピュータシステム 代表取締役社長
副会長	木 村 香 次 ※1	東日本 NS ソリューションズ株式会社 取締役事業部長	//	菅 原 文 彦	株式会社システムロード 取締役
専務理事	九萬原 敏 已 ※2	一般社団法人宮城県情報サービス産業協会 事務局長	//	高 橋 貴 紀	株式会社アルファビジョン 代表取締役
理 事	穴 沢 芳 郎	一般社団法人宮城県情報サービス産業協会 顧問	//	高 谷 将 宏	株式会社エヌエスシー 常務取締役
//	新 阿 部 忠 彦 ※3	テクノ・マインド株式会社 代表取締役社長	//	田 代 紀 生	システムニコル株式会社 顧問
//	伊 藤 正 則	株式会社エスクルー 代表取締役社長	//	中 嶋 竜 大	株式会社ナナイロ 代表取締役社長
//	遠 藤 和 夫	公益財団法人仙台市産業振興事業団 理事長	監 事	淡 路 義 和	株式会社コー・ワークス 代表取締役
//	佐 藤 麻 美	株式会社アイティフラグス 取締役	//	小 林 貴 之	株式会社ラネックス 代表取締役社長
//	柴 崎 健 一	株式会社トレック 専務取締役	※1 副会長に就任 ※2 事務局長に就任 ※3 新理事に就任		

新事務局長挨拶

穴澤さんのあとを引継ぎ事務局長に就任しました九萬原（くまんばら）です。

私は東北電力（株）に 35 年間勤務しその大半を、さらにその後、（株）トインクスにて6年間、IT 関連の仕事に従事してきました。その間、IT 関連のメーカや事業者、特に多くの MISA 会員企業に支えられ仕事をしてきました。その恩返しというわけではありませんが、

MISA の会員を支える事務局の仕事を引受けました。

第 16 代米国大統領リンカーンの言葉を借りれば、「会員の、会員による、会員のための MISA 活動」を支える運営を、阿部会長のもと進めたいと考えています。

MISA の隅々まで知っている前穴澤事務局長に比べ至らぬ点が多々ありますが、一生懸命頑張りますのでよろしくお願いします。



九萬原 敏已

新理事挨拶

この度、小原前副会長理事の退任に伴い、引続き理事の役割を受け継ぐべく就任いたしましたテクノ・マインド（株）の阿部忠彦です。

私は平成元年にテクノ・マインドに入社して、システム販売を中心に営業として担当してきました。レガシーと言われるオフコンに始まり、オープンシステム、クラサバ、Web システム、クラウドとデジタル技術の進歩と社会・経済情勢の変化の中で、システムの利用形態は大きく変わってきました。そして今、更なる革新を目指



阿部 忠彦

す DX です。この変革は我々 ICT ベンダーのみならず、ユーザ自身の変革も必要であり、より多くの知恵と工夫、そして協調が必要です。その意味でも、これまで地域の企業連携や産学官連携の推進役を果たしてきた MISA は今後益々重要であり、DX 活性化のエンジンになると思います。新理事としてまだまだ力不足ですが、MISA 発展のため、地域活性化のため微力ながらお手伝いさせて頂く所存です。どうぞ宜しくお願いいたします。

第12回通常総会 記念講演会 「イノベーションのハードルを下げよう！」

株式会社 セゾン情報システムズ 執行役員CTO 有馬 三郎 氏



セゾン情報システムズ 執行役員 CTO の有馬氏による講演会が行われた。

有馬氏は SI 経験 16 年、サービス開発を 7 年経験しており、現在は SI・ソフトウェア開発を事業の中心とする同社の CTO の任についている。本講演ではなぜ新しい技術を学ぶか、それをどうやって組織が活用するか？また、どのように会社が取り組むべき新技術を選択するか？について同社の経験を踏まえた内容を同氏は説明された。

同社は 30 年前に HULFT をリリースし、その後 DataSpider の開発や、今年 2 月に iPaaS である HULFT Square のリリースに継続して取り組む。有馬氏はイノベーションを「当社が脈々と続けてきた未来の売り上げを作る活動」と明言しており、イノベーションが同社の持続、成長にとって必要不可欠な要素であると示している。また、それがなければエンジニアは目の前の緊急なことしか行わなくなり、それは組織自体のサイロ化、硬直化を招くと説明する。



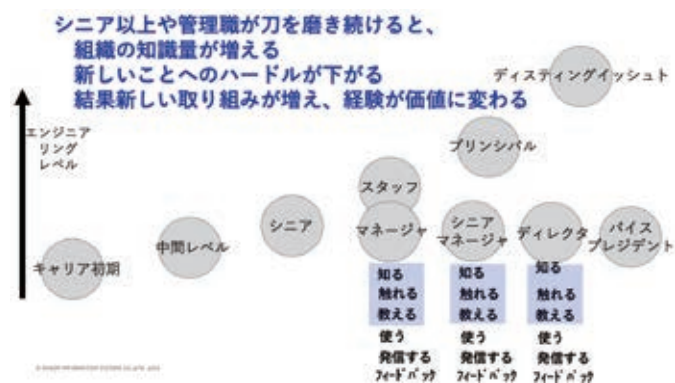
この変化のために必要なこと



新しいことを学ぶには過去の積み重ねが重要であり、若者だけが新規に学ぶのではなく、20 年前に C 言語や Java を開発した古参エンジニアが LLM や Web3 を学ぶことの意義を有馬氏は重要視している。若者だけが学び、組織としてその新技術を理解できない場合は、その学びを会社としての価値に変えられないことを説明する。

Cloud, SaaS, AI, グローバルなど新世界の武器をすでに持った新しい IT 企業は、伝統的な IT 企業に対する破壊者として、すぐ横に並んでいる。彼らと同様に顧客に新しい価値を提供するために、会社全体として新しい技術を身につけることを迫られている。

多くの日本企業では課長、部長と上がるに連れて、エンジニアリング能力が下がる傾向にある。ただし、実際の開発にかかわらずとも、新技術を「知る」、「触れる」、「教える」という経験を通じて、過去の経験をアップデートしつつ、技術力の低下は避けられる。マネージャもしっかりと時間をとって学ぶことができれば学習する組織になれる。



そのために企業は、「時間を用意する」、「機会を用意する」、「支援する」、「褒める」という 4 つのサイクルを組織として進めることが肝要と説明する。

最後に技術戦略をどのように立てるか？については、全体 / 個別の取り組み方があると有馬氏は説明する。

企業として、現在の顧客価値向上、新たな収益源の創

出、未来の競争力確保などホライズン 3 に基づく取り組みべき技術戦略の策定、そして個別の技術探索として LLM/Web3/AR などの技術の渦に選抜社員を飛び込ませるといったものだ。

それらの取り組みを通じて、経営幹部、管理職は自社が登るべき次の山を見つけ、先導者を選び、進んでいく

ことができる。この時に最初から成果を求めすぎず、小さなイノベーションを積み重ねることが必要要件と話す。そして、それは楽しむべきものである。そうすれば自社のイノベーションのはずみ車は軽快に回り始める。

組織全体で新しい学びを始めようという言葉で講演は締めくられた。

技術戦略の探し方



より、そう、ちから。東北電力グループ

私たち TOINX (トイックス) は、IT で実現する新たな価値を社会に拡げ続けます。ともに手をとりあい、どんな時も誰よりも近くで、しっかりと支え、キッチリ守ります。さらに、一歩踏み込んだ提案をし、期待をこえる感動を届けます。

IT で、感動を、ともに。

トイックス
TOINX

株式会社トイックス

〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央二丁目9番10号 セントレ東北

TEL 022-799-5555 FAX 022-799-5561

委員会報告

2023 年度 MISA 新入社員研修

人財委員会

人財委員会育成Gでは、MISA会員企業の中核となり将来を担うシステムエンジニアの育成を促す事業活動の一環として、「新入社員研修」を開催しています。

- ①ビジネス基盤養成：働く姿勢・ビジネスマナーやコミュニケーションなどの人間力育成
- ②システム開発技術者育成：Java・DB・Servletを題材にシステム開発基礎の体系的学習
- ③業務システム開発プロジェクト演習：要件定義から一連の開発工程に取り組む

2023年度は、3年ぶりに全日程対面形式での開催となり、各コースで活気のある講義・演習が展開されました。研修時間中・演習中はもちろんのこと、朝夕の講義外の時間・休憩時間にも受講者どうしの賑やかなコミュニケーション、教えあう姿が随所に見られました。

「②システム開発技術者育成」では、実在するECサイトに実装されている機能やデータフロー、業務フローなどを意識しながら、システム開発技術の講義・演習を展開。単なる技術知識の習得ではなく、活用場面を意識した実装力定着を図り、「③業務システム開発プロジェクト演習」での上流工程・開発演習へつなげました。6月23日開催の最終発表会では、40名を超える受講企業関係者の皆様にご来場いただき、この場をお借りして御礼申し上げます。

また、8月にはフォローアップ研修を開催し、「業界の同期」との価値観・刺激の享受、スキルの補完を行いました。新入社員の皆さまの、今後のご活躍を期待しております。

- 開催日 2023年4月5日～6月24日（55日間）
- 会場 仙台市中小企業活性化センターセミナールーム
- 参加者 ①ビジネス基盤養成 14社54名
②システム開発技術者育成 9社41名
③業務システム開発プロジェクト演習 8社37名
（フォローアップ研修は8月23日・24日開催、10社39名が参加）



※2024年度は、受講企業からのご要望等をもとにカリキュラムを更新のうえ、2023年12月募集開始の予定です。

委員会報告

第18回 MISA 会長杯フットサル夏大会

福利厚生委員会

第18回MISA会長杯フットサル夏大会を8月6日（日）MIFA Football Park SENDAIで開催しました。今年はコロナ禍の影響により2019年以来4年ぶりの開催となり、参加チーム14チーム総勢164名と活気のある大盛り上がりの試合となりました。

当日は炎天下の中試合が行われ、熱中症にならぬよう選手も観客も水分補給を随時とる様子が見受けられました。

結果は、アルファテクノロジーが初戦から決勝ま

で圧倒的な勝ち点を取り続け、優勝という成績を収めました。試合後は、恒例の全チームへ配られる豪華賞品クジ引き大会や、参加全チームでの集合写真を撮影し、その日の幕は閉じました。

今大会は例年よりケガ人も少なく、安全第一の穏やかな大会となりました。これからもこの歴史ある大会が皆様にお楽しみ頂けるよう委員会一同趣向を凝らして参ります。



優勝 アルファテクノロジー（株）

準優勝 コンピューターマネージメント（株）

★上位トーナメント結果



委員会報告

MISA 真鯛釣り交流会開催

福利厚生委員会

- 開催日：2023年4月15日（土）
- 場所：西仙台カントリークラブ

第44回MISA親睦ゴルフ大会は、14組52名（内、初参加9名）にて、宮城の名門「西仙台カントリークラブ」にて開催しました。

当日は、後半雨となってしまいましたが、日頃の腕前を競い合い和気あいあいと会員間の親睦を深めるゴルフ大会となりました。



【成績】（敬称略）

- 個人戦

	NET	HC	
優勝：飯塚 達也	(72.2)	(16.8)	テクノ・マインド（株）
準優勝：増子 良一	(72.6)	(14.4)	イートス（株）
第3位：須藤 繁明	(73.2)	(22.8)	朝日システム（株）
第4位：佐々木俊也	(73.6)	(26.4)	（株）カーム
第5位：穴沢 芳郎	(74.0)	(6.0)	MISA
BG(80)：穴沢 芳郎 ※エイジシュート達成（おめでとうございます！）			
- 団体戦（上位3名のNET合計）

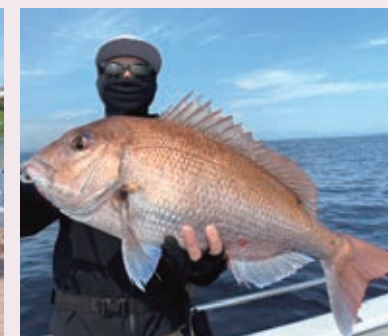
	NET合計
優勝：須藤 繁明、浅野 宏祥、日向 勇輝、中嶋 竜大	(226.4)
準優勝：穴沢 芳郎、佐藤 英夫、佐藤 敏己、飛沢 峰	(229.4)
第3位：山下 悟史、杉山 光宏、伊藤 倫泰、佐藤 豊	(231.0)

- 開催日：2023年6月17日（土）
- 大物賞

- 優勝：CTCテクノロジー（株） 笹岡様（真鯛68センチ）
- 準優勝：日立Astemo仙台（株） 多田様（ブリ83センチ）
- 3位：日立Astemo仙台（株） 阿部様（花鯛）



全体集合写真



本命真鯛！お見事！

コロナ禍で一時中断していたため、約3年ぶりの開催となりました。昨年度の10月にも企画しましたが、天候悪化により中止となってしまい、今回はなんとしてでも開催したい！という皆さんの思いが通じ、無事開催することができました。

朝4時にお集まり頂き、潮がとても早く釣りづらい状況でしたが、14時迄釣りを楽しみました。

本命の真鯛は1枚と厳しい釣果でしたが、船酔い者も居なく、無事終了できました。

ご参加頂きました皆様、お疲れ様でした。

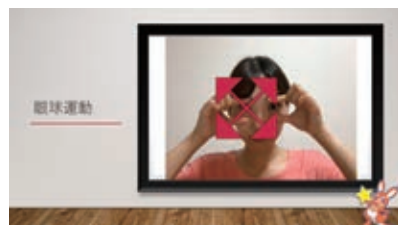
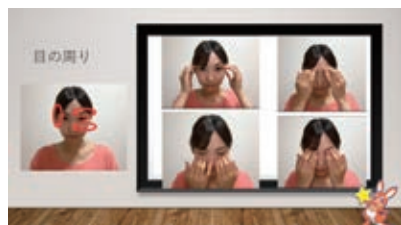
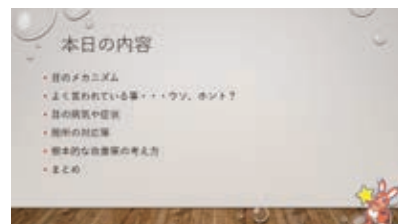
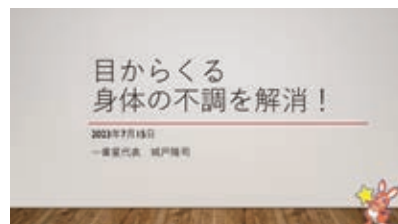
委員会報告

目からくる不調の解消！セミナー

福利厚生
委員会

7月15日にMISA福利厚生委員会主催「目からくる不調の解消！」セミナーを開催いたしました。

一昨年「テレワーク時代の健康管理」というテーマでセミナーを開催いたしましたが、その時のセミナー内容が好評で、「スッキリした」「きもちいい」などのお声が多く聞かれたので、再度デスクワークの多いICT業界のヘルスケアに関するテーマがないか尋ねたところ、ちょうど今、目のメカニズムに関する勉強をしているとの事で、今回の「目からくる身体の不調を解消！」というテーマでオンラインセミナーを行っていただくことになりました。



委員会報告

学生の就活に対する意識調査

人財委員会

MISA人財委員会確保グループでは、学生たちの就活に対する意識を把握するための情報収集として、教育機関の協力のもと学生たちへのアンケート調査とヒアリングを行ってきました。この活動の契機となったのは、仙台エリアにおける我々IT業界の採用難が顕著になってきたことから、就活の早期化と二極化の実態を掴み県外への流出対策を含めた検討が必要になったことです。

また、人財委員会確保グループでは仙台圏の教育機関との連携を図り、教員や就職担当の職員から得た情報をもとに、合同企業説明会などの人財確保に関する事業を企画推進していますが、近年の学生のキャリア形成に対する意識の多様化においては「今年の学生の動向」というボリュームゾーンがなくなりつつあります。分散した学生の就活動向に柔軟に対応していくためにも学生個々人の声を集める必要が出てきました。

調査は6月から始め8月3日までの時点で6大学を訪問し、学部3年から修士2年までの50名の学生たちに協力してもらいました。研究室単位の少人数での実施により学生たちも忌憚ない意見を積極的に発言し、我々が知り得なかった考えを多く聞くことができました。

ここまでの調査集計をもとに、8月4日には人財委

セミナーでは、老眼になるメカニズムから、老眼の進行を防ぐ方法や、目の病気、視力は改善される？など医学的な見地から実体験などを踏まえた内容で有意義な60分間セミナーでした。

今回は講師側、受講側ともに本業務優先を考慮し、土曜日の夕方開催という異例の時間の開催としました。(土曜日の夕方という時間帯のおかげか、新幹線内でセミナーを視聴していた方も(笑))

福利厚生委員会では今後もこのような業界特有のヘルスケアに関する改善セミナーなどを開催していきます。

員会確保グループで「学生の就活に対する意識調査アンケート及び検討会」と称し、集計したデータから学生たちの意識を読み解いていく場を設けました。委員が着目した点についての検証や今後の採用活動に向けての対策案など、活発な意見交換がなされました。アンケートやヒアリングから得られた注目すべき学生の意識の一例を別表にまとめましたのでご覧ください。

この検討会の概要については報告書にてMISA会員企業にも共有する予定です。

今後も2025年卒学生をメインに継続して調査を進め、学生と企業双方のニーズにマッチした適時適切なイベント開催や情報発信を行っていきたくと考えています。

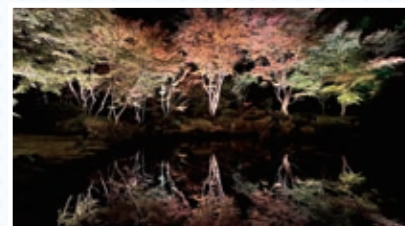
[別表]

学生の就活に対する意識の一例
就活はできればパツと始めてパツと終わらせたい
ファーストキャリアの間隔を短く考えている (転職を前提に就活を進める学生もいる)
最終的に企業を選ぶ際は人事採用担当の印象が重要な要素になる
働きたいと思える企業が増えれば宮城への就職者が増えると思う (働きたい企業が少ない)

MISAフォトコンテスト結果報告

MISA会報54号フォトコンテストに、会員企業16名の方より39作品のご応募をいただきました。MISA事務局と広報委員会の投票による選考結果でグランプリ、準グランプリ2作品と佳作12作品が決定いたしました。グランプリ作品には商品券、準グランプリ作品と佳作にはQUOカードがそれぞれ贈呈されます。

表紙に掲載
グランプリ
わたり夏まつり
わたりんのような花火
(株)ビッツ 北村 豊 様

準
グランプリ松島園通院
(株)アート・システム
鹿目 仁 様行くぜ!くりこま山
(株)トレック
柴崎 健一 様佳 作
(順不同)復活!伊達政宗像
(株)東北システムズ・サポート
山内 祐治 様竹駒神社
(株)アイエスピー東北
土井 夕香 様田園と朝焼け
(株)アド・エータップ
菅原 涼 様鳴子峡と架橋
(株)アド・エータップ
佐藤 真(ペンネーム)蔵王キツネ村のキツネ達
(株)アド・エータップ
鈴木 優希 様宮城の夏・松島五大堂
(株)フジビジネスセンター
鹿野又 寛 様塩釜みなと祭り魚市場着岸
(株)アート・システム
鳥澤 強志 様榴岡天満宮の七夕飾り
(株)アート・システム
菅原 壮浩 様文句あるか
(株)アイティフラッグス
久保 哲雄 様どこでもドア
(株)アイティフラッグス
伊藤 安理加 様七夕飾り2023
(株)アイティフラッグス
伊藤 美鈴 様こもれび
(株)トインクス
作間 陽一 様

会 員 異 動 状 況 (令和5年5月1日以降の入会関係)

正会員-入会

賛助会員-入会

会員数(正会員……196社 賛助会員……38社)

入会日	会員名(代表者名)	住 所 TEL・FAX
5月19日	(株)アンヴィル (仙台営業所 所長 芳賀 大毅)	〒980-0811 仙台市青葉区一番町1-1-31 山口ビル702号室 TEL 022-797-9039 FAX 022-797-9049
6月1日	(株)manaby (代表取締役社長 岡崎 衛)	〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡1-6-30 ディーグランツ仙台ビル5F TEL 022-355-6626 FAX 022-355-8771
6月6日	東通インテグレート(株) (代表取締役社長 佐藤 博美)	〒984-0015 仙台市若林区卸町2-11-5 TEL 022-232-4491 FAX 022-232-4477
6月12日	VALT JAPAN(株) (代表取締役 小野 貴也)	〒980-0021 仙台市青葉区中央4-1-26 レインボービル512 TEL 080-7434-6393 FAX 03-5539-4827
6月15日	アクセンチュア(株) (代表取締役社長 江川 昌史)	〒107-8672 東京都港区赤坂1-8-1 赤坂インターシティAIR TEL 03-3588-3000
6月19日	(株)SE アシスト (代表取締役 村上 晋悟)	〒747-0024 山口県防府市国衛5-11-22 2F TEL 092-710-7405
8月2日	(株)MOVE (代表取締役 浦野 淳)	〒980-0013 仙台市青葉区花京院1-2-15 ソララプラザ3F TEL 022-380-7766
7月4日	(株)高速 (代表取締役社長 赫 裕規)	〒983-8555 仙台市宮城野区扇町7-4-20 TEL 022-207-5610 FAX 022-259-1640
		(敬称略)

令和6年賀詞交歓会 開催予告のお知らせ

- 開催日時 : 令和6年1月19日(金) 15:00~18:00
- 会 場 : TKPガーデンシティ仙台(AER21F)

※正式案内は後日メールにてお知らせいたします。

編 集 後 記

この夏は記録づくめの暑さで真夏日は50日以上と観測が始まった1926年以降、過去最多だった2010年の48日間を上回っています。

さて、このような暑さの中でしたが、8月25日(金)に「MISA 顧問・参与 役員懇談会」をパレスへいあんにて開催し、現役員の方を含め22名の方が参加しています。懇談会では、新役員の紹介のほか、当日出席いただいた大内先生(参与・東北福祉大)と松田先生(参与・東北工業大)から、大学や学生の就活の状況について報告してもらいました。就活は学生によってバラバラですが、まだ3割は就活活動していない(残っている)とのことなので、苦戦を強いられている各社にもチャンスがあり

そうです。

参加者は和気あいあい、そして喧々諤々と我がIT業界やMISAの今後の活動など、議論・懇談を行いました。

新型コロナの感染症の取扱いも5月に2類から5類に変更後、経済活動も感染拡大前に戻りつつありますが、このところすこしずつ感染が拡大していることが気になるところです。9月に入り、暑さもほどほどになり、MISAの活動もこれからが本番ですので、コロナ感染を気にしながら楽しく頑張ってもらいたいところです。事務局としても各委員会の活動を引続き支援していきます。

(事務局K)